



W 811.56  
Ka

62225

811.56  
KA



候字遣捷徑集



一 候の いぢへ

一 中の おをえ

一 奥の ひねえ

此の間或をひ或をよみし之

一

候むは

う下用時  
うむう時

はと  
は書ぶあまこ

けおの間同朝事

一 ちとす 小なりてはく時を結る

一 まこむちも け等れぬ言とひひと結るこ  
をひふへか

一 言葉ヲ列テむ時文字整らぬり  
いとゆるららははとほとひひひひ  
こしたをとこ又あかここよとや又え

まこととけとさききりてとちちり  
是も教かひにけく結るとありは

一 志文字餘多ふかうよ

志や ハカコヒ 志や ハカサリ 志ひ又せう結る  
或、きんさく 或、さうぞん  
志よ ハカコヒ 志や ハカサリ 志とせうとよ結る  
或、ぞくふい  
又志由す ハカコヒ 志ひよ ハカサリ 結る ハカコヒ

教珠

言お通<sub>レ</sub>知<sub>レ</sub>ぬ<sub>レ</sub>志<sub>レ</sub>行<sub>レ</sub>く

あ い う 急 を 鼻咽<sub>ニ</sub>通<sub>ス</sub>

か き く け こ 牙<sub>ニ</sub>通<sub>ス</sub>

さ ー す せ ぞ 齒<sub>ト</sub>舌<sub>ニ</sub>通<sub>ス</sub>

た ち つ て こ 腮<sub>ニ</sub>通<sub>ス</sub>

た に ぬ ぬ の 鼻腮<sub>ニ</sub>通<sub>ス</sub>

は ひ ふ へ ほ 唇<sub>ヲ</sub>不<sub>レ</sub>合

ま み む め も 唇<sub>ヲ</sub>合

や お ゆ け よ 鼻<sub>ヨリ</sub>出<sub>レ</sub>こ

ら り ろ れ ろ 舌<sub>ヲ</sub>フル

わ い う 急 木 鼻咽<sub>ニ</sub>通<sub>ス</sub>

閉<sub>リ</sub>齒<sub>モ</sub>重  
閉<sub>カ</sub>齒<sub>ヲ</sub>カ  
閉<sub>カ</sub>齒<sub>ヲ</sub>カ  
閉<sub>カ</sub>齒<sub>ヲ</sub>カ  
閉<sub>カ</sub>齒<sub>ヲ</sub>カ

端のい

伊已夷  
意異以

如此文字、能字付、  
上中下三イナレシ

はーのいを下よかくハ下此多餘多  
ふ海さるハさーのいとさる々々

太元和名

鯛

たい

礼拜

らいそい

礼

せい

胎肉

あまい

卵

かいご

海津

かいり

臈

鯉

こい

題

だい

加比古和名

古比和名

細工

さいく

大師

たいー

地ろ見いまみく

權滴

いのちく

権松法いさ

會松くいけい

臈

又輕

うくい

搔遣捨

いなりはら

此類ハ端のいと下よき大略教よき母  
字此下といふむハさー乃いあり

老此云控喻 日本記

又

老寢覚

かいのねさめ

あつちおひてとハひの字こそあせおひてハ  
あつちとさよさうり 生ナレの字ハおひくとまこ

中のお

井居違委威  
團遺謂位有

此の文字、假字付、  
上中下、井ナレ

中のおと書半下の審教修多よ、海

一極よ、まは中乃おぬ

猪胃亥 菌心 断出ナリ ちあろ 紅心 ちあろ

鵠心 くあ 魏心 神心 ちあろ ちあろ ちあろ

位階心 あろい 夜居心 あろ 推柴心 ちあろ

池心 穢心 堤心 水心 是心 俗心 イ心 ツ心 ト心 ム心 いろ 杉心 を心 あ心 く心 水心 鶏心 くあろ

断井 齒心 ツ心 ヲ心 ヌ心 ル心 コ  
削心 削心 入心

始爵心 うあかろ 新心 枕心 におほろ

粹心 ろろ 志心 あろ 未心 花心 ちあろ

藍心 ああ 鷹心 階心 ちあろ 木心 花心 ちあろ

新心 年心 ああろ 妹心 居心 いあろ 侍心 居心 まらあ

水心 飯心 浦心 飯心 浦心 ちあろ

け 齋心 あろ ちあろ

奥心 の心 ひ

飛心 日心 火心 鄙心 肥心 避心 非心 悲心 菲心 斐心 斐心 比心 上中下、井ナレ

多 潮 瀬 廬 勢 通

氷 巖 臼 塩

こほり	いとち	よあふ	志不
潤	焔	竿	庵
うたふ	かの海	さか	いぢ
靨	那	掩	薫
面	こほり	たぢ	つぢ

此類不あふ及一此外又たわと  
ゆりくふ海時をかを事及一

ほををとふむことそ家の勢をけひく  
ふむはほををとふむ事

宵

ふひつるあふたくのひたり塩の。  
あふくくくくあふあふあふあふあふあふ  
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ

端のほ

帆本補浦  
浦暮保

ぬ新能字付ハ  
上中下ハホノ  
能字付ハへ



大江山 ねえ山

多 繋く

又

浮保浪 紀列和名

かほろ

夜通姫とあり姫

潮

うらうし

うらうし

如 此 数 多 あり たり かな とき あり

中のを

越 緒 小 恩 遠 こと

めは文字、能字付ハ 上中下ニモナルヘシ

中 の を と 用 る 事 を 字 の 後 声 正 用 合 の か う さ 時 ハ 大 く 中 の を と さ り 又 て ふ を 此 と さ ハ 必 中 の を と さ り

押 入 和 名 百 葉

押 明 方

を 一 明 了

船 押

を 子 推 せ

押 並

押 靡 目 早 紀 何 不 別 公 云

を 一 更 く

推 せ

を 一 は くる

後 終 合 一

を 一 更 く

饋

合 物 遣 入 贈 詩 文

を 一 更 く

駑

を 一 更 く

自

を 一 更 く

己 一 極 く

を 一 更 く

己

を 一 更 く

名

を 一 更 く

和 尚

を 一 更 く

鴛 鴦

を 一 更 く

霞

を 一 更 く

史

を 一 更 く

女

を 一 更 く

を 一 更 く

自 己 一 極 く 己 一 極 く

日本紀和名ヲク

是 オノ 置 マカ

松 オノノ 須麻 オノノ 重 オノノ

伯父 オノノ 甥 オノノ

笛 オノノ 相生 オノノ

青 オノノ 芬 オノノ 十日 オノノ

愚 オノノ 終畢 オノノ

子 オノノ 進 オノノ 補 オノノ

修行 オノノ 威禮 オノノ 惶悸 オノノ

弟ハ年たとわら  
といつちられ  
たといふ一

急 オノノ 雄 オノノ 礼 オノノ

控 オノノ 織物 オノノ 坐 オノノ

侵 オノノ 出 オノノ 怖畏 オノノ

音 オノノ 鐘 オノノ 背 オノノ

凡 オノノ 物 オノノ 何 オノノ

禮 オノノ 男 オノノ 終 オノノ

玉 オノノ 念珠 オノノ 終 オノノ

袋 オノノ 水 オノノ 終 オノノ 何 オノノ

小舟 こぶね 小川 こがわ 小橋 こはし 小舟の こぶねの 小倉 こくら 小垣 こがき  
 小篠 こしの 小山田 こやまだ 小座 こざ 小田 こだけ 小車 こぐるま 小名衣 こなえ  
 小柳 こやなぎ 小柳 こやなぎ

世歌 甲一 半之

女郎花 おんながはな うらむしこ 紫苑 むらさき 俗名とんこ 志 し

芭蕉 ばけう 毛世紙 けせし

世三又 奥ニ 訖

右ニ 介 扱 多 あり 久 之 志 乃

尾平 和名

奥の 松 を 用 多 半 其 字 の 後 意 用 合 の  
 松 も 多 時 ハ 古 形 松 多 半 あり  
 思 互 松 有 け 清 産 松 有 け  
 折 ぐ 松 有 け 惜 松 有 け  
 同 松 有 け 萩 松 有 け  
 山 鳥 此 松 有 け 志 乃 松 有 け

奥の 松 尾 雄 鳥 呼 松 有 け  
 平 男 穂 松 上 中 下 氏 松 有 け

るのた<sup>こ</sup> 多<sup>た</sup> 歎<sup>た</sup>のか 鼻<sup>は</sup>のか 中<sup>ち</sup>のか  
い<sup>い</sup> 法<sup>は</sup> 意<sup>い</sup> と 生<sup>し</sup> 親<sup>しん</sup> の 尾<sup>び</sup> は かくのた<sup>こ</sup> あり

端<sup>たん</sup> の<sup>の</sup>  
邊<sup>へん</sup> 遍<sup>べん</sup> 徑<sup>きやう</sup>  
部<sup>ぶ</sup> 及<sup>及</sup> 重<sup>じゆう</sup> 上<sup>じやう</sup> 下<sup>げ</sup> 海<sup>かい</sup>  
如<sup>如</sup> 此<sup>此</sup> の 字<sup>字</sup> 能<sup>能</sup> 字<sup>字</sup> 付<sup>付</sup> け  
上<sup>上</sup> 中<sup>中</sup> 下<sup>下</sup> テ<sup>テ</sup> セ<sup>セ</sup> ナ<sup>ナ</sup> リ

悔<sup>かい</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 又<sup>又</sup> 悔<sup>かい</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> け<sup>け</sup> の<sup>の</sup> あり

程<sup>ちやう</sup> 縁<sup>えん</sup> 治<sup>ち</sup> 將<sup>じやう</sup> 考<sup>かう</sup> ら<sup>ら</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 思<sup>し</sup> 念<sup>ねん</sup> 憶<sup>い</sup> ち<sup>ち</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

預<sup>よ</sup> 福<sup>ふく</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 詔<sup>しう</sup> 酬<sup>じゆう</sup> 謝<sup>せ</sup> む<sup>む</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

謂<sup>い</sup> 上<sup>じやう</sup> 旨<sup>し</sup> 言<sup>げん</sup> 導<sup>だう</sup> 稱<sup>じゆう</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 惑<sup>かく</sup> 悔<sup>かい</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

使<sup>し</sup> 遣<sup>せん</sup> 仕<sup>し</sup> 使<sup>し</sup> 遣<sup>せん</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 類<sup>れい</sup> 比<sup>ひ</sup> 屬<sup>じゆく</sup> め<sup>め</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

舌<sup>しやう</sup> 違<sup>たい</sup> 舌<sup>しやう</sup> 違<sup>たい</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 飾<sup>しやく</sup> 補<sup>ぼ</sup> 理<sup>り</sup> ち<sup>ち</sup> ら<sup>ら</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

認<sup>にん</sup> 福<sup>ふく</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 巾<sup>きん</sup> ぬ<sup>ぬ</sup> ら<sup>ら</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

窺<sup>くわい</sup> 候<sup>こう</sup> 伺<sup>ひ</sup> う<sup>う</sup> か<sup>か</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 追<sup>しゆい</sup> ち<sup>ち</sup> ら<sup>ら</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

洗<sup>せん</sup> あ<sup>あ</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 被<sup>ひ</sup> 拂<sup>ひ</sup> 袂<sup>たもと</sup> は<sup>は</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

漂<sup>ひょう</sup> 蕩<sup>たう</sup> 言<sup>げん</sup> 語<sup>ご</sup> 詔<sup>しう</sup> 活<sup>かく</sup> る<sup>る</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

折<sup>せつ</sup> 盟<sup>めい</sup> ち<sup>ち</sup> ら<sup>ら</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 叶<sup>えつ</sup> 通<sup>つう</sup> 稱<sup>じゆう</sup> あ<sup>あ</sup> ら<sup>ら</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

逢<sup>ほう</sup> 會<sup>かい</sup> 合<sup>ごう</sup> 相<sup>しやう</sup> 値<sup>ぢ</sup> あ<sup>あ</sup> ら<sup>ら</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup> 迷<sup>めい</sup> 悔<sup>かい</sup> ひ<sup>ひ</sup> へ<sup>へ</sup>

延 万葉  
地行  
姿ナリ

かゝるひ

飼

かゝるひ

同

かゝるひ

吟

かゝるひ

狂

かゝるひ

敬

かゝるひ

救

かゝるひ

摺

かゝるひ

向

かゝるひ

慕

かゝるひ

論 競 静 詳

あらしむ

訪

かゝるひ

撰

えらぶ

誘

かゝるひ

味

あらしむ

嘆

かゝるひ

樂 目在記アラソフ

きろふ

疑

かゝるひ

愁

うきふ

調

かゝるひ

随 従 順

たのむ

傳

かゝるひ

移 遷 轉

うつろ

舞

かゝるひ

経

はらふ

習

かゝるひ

債

はらふ

養

かゝるひ

占 卜 巫

うらな

歌

かゝるひ

圍 樊 振

かゝるひ

頌

かゝるひ

喰喫飯

くらひ

此類乃亦此の中比ひに除るる也  
あり

辨

わさき

与

あふ

副

そふ

さにてよふの所  
扱ふ事とす

諾いふ

答

こふ

携

あふ

備饗饋具  
供養

うな

栄富昌

さふ

貯資

多ふ

横

いふ

加

くふ

植

うふ

教誨訓

あふ

踏

あふ

押抑

あふ

此外志毎一たき一ちとをたり

そひ好へかよふはけのあり

或上

う

苗

あひら

蛙

あふ

あふ

ちるをれとありち水よさをひきく  
山田のちるちる

又まひふちよかきあけ  
作日唇ッ不合  
下云ハ強クセ

前 編 鎮 白  
ま 返く うま  
ひん 望一筆やひん  
こりま 破一 かしり  
志ろく 堪 久一子

中ハ多ひへよ返まき建ま中  
のえ 行の急あま行しそ一のあり

申のえ  
紅枝縁敷依  
柄身 衣儼之得  
此ニ文字ノ修字  
付上中下ニナリ

中乃えハ中とゆへ語ハ  
み中ノえと  
事乃

湍 淵 越 寒 概  
いこえ さいえ さいえ さいえ さいえ  
いこえ さいえ さいえ さいえ さいえ  
いこえ さいえ さいえ さいえ さいえ  
いこえ さいえ さいえ さいえ さいえ  
いこえ さいえ さいえ さいえ さいえ  
いこえ さいえ さいえ さいえ さいえ  
いこえ さいえ さいえ さいえ さいえ  
いこえ さいえ さいえ さいえ さいえ

汰馬

採入殺

そろえろに  
そろゆり

一説

弄

とえ  
とゆり

け敷日茂中のえろり け介 かたこ

叡慮

えいりよ

英雄

えいゆう

依怙えこ

依用

えいよう

衣紋

えいもん

枝えこ

縁妻

えん

放也、停也、高えや、停也のえん

在

え

入江

いりえ

田村 ゆり

此類扱多あり

奥の急

衛會營畫繪  
栄永穢慧

此の文字能字付  
上中下ニテモ也

たぐ乃急と たかくとふひん かがもん

ゆこも かよつ から はた くの急と まこ

杖

法急

えに た形 かの か

梢

こ い急

高 か急

末

こ い急

靴

あ い急

繪畫急

知急

ち い急

救生會

ま い急

机

は い急

噉餅

ま い急

礎 い急



醉 ろしひ<sub>ヒ</sub>

笑 咲<sub>ヒ</sub>

志 ろ

左串の右串の

さきん ろしん

左き指右き糸

さひうゑ ひうゑ

さしん ひうゑ 一ひ<sub>ヒ</sub>こけお<sub>ヒ</sub>こ<sub>ヒ</sub>

う

有兩千卯得

羽胡右馬字うこ

左字を引くうむ時下からぬうと縁さあり  
下のうむと扱あきさよふ<sub>ヒ</sub>うむ<sub>ヒ</sub>に<sub>ヒ</sub>うむ<sub>ヒ</sub>  
うの字あきさよふ

僧

そう

法那<sub>ヒ</sub>

燒香せうかう

女房

ねうそう せうく

何れとたう

法

こうと

法水あうと<sub>ヒ</sub>料紙せうし

堂塔

どうとう

儲宮領まうけのせう

此類考より漢字の下と行て<sub>ヒ</sub>せう

大略うの字や

む

無元<sub>ヒ</sub>夢<sub>ヒ</sub>勢

半<sub>ヒ</sub>舞<sub>ヒ</sub>武<sub>ヒ</sub>む

むの字はうのきよなるハにを結ひく  
一母字ハむの字はうのきよなるハ

考ハうのきよなるハにを結ひく

埋本 むりね本 梅枝 むねうき

生 むまれ 馬 むま

烏羽玉 むを玉 薔薇 むらぎ

け等の類有るなり

端のは 端葉半頗ハ  
盤をこきなる者も波は

はのふと下用り付ハこそも後なる  
句編てふとその時ハはとことむあり

河内 かつら 淡路 あはら 河波 あハ  
安房 あハ 常盤 ことさハ 川 うハ

奥のわ 倭輪倭  
話王と和

わ、上中下申てとわたりてふをまは  
用ひさるこ 大方上申て下用ひさる  
下よ書取た記く

三輪

三

三活 七

日和

あ

柔和

柔

豊 豊虫

くつ日

と柱 三

此取たうなり 在前文字より  
ちとー 濁りてい豊時よ録るこ  
級

藤花

つちのいぬ

富士山 かの山

又吉船

船はきうらう川方をききよ  
あゝれさるはあゝるよ  
つとす 濁りてい豊時よ録るこ

吉船

ゆきうらうきかゝりとはるまき  
さそぬんさなみりり

等し歌能くよきなるなり  
ふもふところを流るひの雲る歌事

女命メノミコト

俗ノボリとありし也  
よきとありし也  
よきとありし也  
よきとありし也  
よきとありし也

物名歌

志ノボリとありし也  
志ノボリとありし也  
志ノボリとありし也  
志ノボリとありし也

紫苑ムラサキ

俗ノボリとありし也

志ノボリとありし也

物名歌

志ノボリとありし也  
志ノボリとありし也  
志ノボリとありし也  
志ノボリとありし也

芭蕉ハヤシ

俗ノボリとありし也

志ノボリとありし也

物名歌 記ノメト

志ノボリとありし也  
志ノボリとありし也  
志ノボリとありし也  
志ノボリとありし也

龍膽

俗<sub>ニ</sub> 弓んたうと申也

弓うあんとき

物名あり

こりやらのむね

此はなるれもや

牽烟子

俗<sub>ニ</sub> 言んちと申也

言ふちと申也

物名歌

うちつきよし

とくし

母波

俗<sub>ニ</sub> らんをとき也

きよと申也

け外よ

母字<sub>ヲ</sub> らんと申也

右被字き

西三條道遥院殿

實隆

不攪強如指掌也 控製考教本後其  
宜加格之在可謂被字遺龜鑑不  
可空圖外者也

正保三年六月廿五日

追加

全<sup>ニツク</sup>り まさく

を<sup>モツトモシ</sup> もとも

新<sup>ウツク</sup> ころへ

以<sup>モツテ</sup>て こて

子<sup>サウソク</sup>速<sup>ク</sup> さそく

依<sup>ヨツテ</sup> んて

鳥<sup>キツト</sup>度<sup>ツ</sup> さと

蜜<sup>ミツカン</sup>柑<sup>ツ</sup>

こころん 漢字に  
ヨク

右之類書ハハ川の字此そとくキあり  
と母とハつめくとむつたひあり

右一冊澤田氏所持之奉借之書寫畢

寛保元辛酉年秋

速水藤房書



右一冊速水先生以本書令騰寫予

不可他見者也

寛延三庚午年南吕十日 藤原親岑



西三條右大臣公修公男  
水安求權中納言兼成  
西三條  
道遠院  
内大臣實隆  
法名克空  
天文六十月二日  
兼成道遠院ノ孫ナリ

